

熱海・MOA美術館リニューアルオープン記念企画

アルゲリッチ & 伊藤京子スペシャルコンサート at NOGAKUDO



幽玄の舞台がふるえる

奇跡の旋律

コンセプト

アルゲリッチ × 日本の美

幽玄の舞台がふるえる
奇跡の旋律

静寂の能舞台に置かれた一台の漆黒のピアノ。
演奏するのは、世界最高のピアニスト マルタ・アルゲリッチ。長年の友人・伊藤京子とのピアノデュオ、弦楽四重奏とのアンサンブルを行います。
リニューアルしたばかりの展示室で、企画展「琳派の美と光琳茶会の軌跡」もご覧いただけます。
研ぎ澄まされた「日本の美」と「クラシック音楽」の融合を、ぜひご堪能ください。



日程 2017年5月24日（水） 開場 18:00 開演 18:30 終演 20:30（予定）

会場 MOA 美術館 能楽堂 / 501 席
静岡県熱海市桃山町 26-2 / Tel 0557-84-2500
www.moaart.or.jp

出演 マルタ・アルゲリッチ（ピアノ）
伊藤京子（ピアノ）
カルテット・アマービレ（弦楽四重奏団）
篠原悠那（ヴァイオリン）、北田千尋（ヴァイオリン）、
中 恵菜（ヴィオラ）、笹沼 樹（チェロ）

演奏予定曲目 [アルゲリッチと伊藤京子のピアノデュオ（連弾）]
M.A. モーツァルト：アンダンテと5つの変奏曲 ト長調 K.501
M. ラヴェル：マ・メール・ロワ
F. ショパン：ムーアの民謡風な歌による変奏曲 ニ長調
[アルゲリッチとカルテット・アマービレのピアノ五重奏]
R. シューマン：ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44

料金 全席指定 30,000 円

チケット取り扱い

2月15日（水）10:00 より販売開始予定

● e +（イープラス） [PC・携帯] <http://eplus.jp>
[直接購入] ファミリーマート

● MOA美術館 Tel：0557-84-2500

主催 公益財団法人 岡田茂吉美術文化財団



ねがい

美による平和の建設

概要

この企画は、MOA美術館（静岡県熱海市）リニューアルオープン記念として行うもので、熱海市と姉妹都市の大分県別府市で開催される「第19回別府アルゲリッチ音楽祭」の関連コンサートです。

マルタ・アルゲリッチ氏が総監督を務める同音楽祭は、アルゲリッチ氏が信頼を寄せる伊藤京子氏のプロデュースのもと、毎春、九州・大分県を中心に開催されている世界的な音楽祭です。2016年の東京公演に皇后陛下がご来臨されました。

MOA美術館では、「美」とは、楽しみながら品性が向上されるとともに、心の健康や創造的感性が育まれ、身体にも好影響を及ぼす「生きる力」そのものを養うものとして、普及に力を注いでいます。それが、ひいては社会の平和につながると信じているからです。

そこで、同音楽祭が、次世代を担う子どもたちが心豊かに暮らせる社会創りのための活動（ピノキオコンサート）や、若手音楽家の育成を目的にしていることに共感し、公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団のご協力を得て開催することになりました

今回、桐朋学園大学（東京都）の在学生ら4人による弦楽四重奏団のカルテット・アマービレの起用も、若い世代へアルゲリッチ氏の音楽性をつないでいくという趣旨からです。アマービレは、若手音楽家の難関の登竜門として知られる第65回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で3位に入賞（2016年9月10日）するなど、いま注目を集めています。世界最高峰のベテランピアニストと、未来へ向かって無限の可能性を秘めた若手演奏家たちの共演。

芸術家が生み出す美しい調べに心満たされる極上のひとときを、美の殿堂である美術館で、ぜひご堪能ください。

出演者



© Rikimaru Hotta

マルタ・アルゲリッチ / ピアノ

好きな鍵盤楽器奏者ランキング 18 年連続第 1 位(『音楽の友』1996～2014 年)、グラミー賞 3 回受賞の世界的ピアニスト。

アルゼンチン・ブエノスアイレス生まれ。8 歳でモーツァルトとベートーヴェンのピアノ協奏曲を弾いてデビュー。1957 年、ブゾーニとジュネーヴの国際ピアノコンクールで優勝。1965 年、ショパン国際コンクールで優勝し、世界的な評価を決定的なものにした。世界三大オーケストラのベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団など、数々の有名オーケストラと共演。「鍵盤の女王」と呼ばれ、人気、実力ともに世界的トップピアニストとして活躍中。1998 年から、大分県別府市で「別府アルゲリッチ音楽祭」を開催し、総監督を務めている。(公財)アルゲリッチ芸術振興財団総裁。2016 年には 18 回目を迎えた。

2016 年 12 月 4 日には、米国ワシントンの文化施設ケネディ・センターが優れた芸術家らに贈る第 39 回同センター名誉賞を受賞。『20 世紀および 21 世紀最高のピアニストの一人』という受賞理由。授賞式は、ホワイトハウスでオバマ米大統領が受賞者を迎えて行われた。米国でのがんセンターへのチャリティーをはじめ、音楽を通して世界各地で社会へ多く貢献している。



© Rikimaru Hotta



© Rikimaru Hotta

伊藤京子 / いたう きょうこ / ピアノ

福岡県出身。東京藝術大学付属高等学校から東京芸術大学、フランクフルト音楽大学卒業。第43回日本音楽コンクール第3位入賞。10年間の渡欧中、1977年ブゾーニ国際コンクール第3位入賞。レオナード・ホカンソン、ベルルミューテル、マルタ・アルゲリッチ、パウル・バドゥラ＝スコダに師事。N響（サバリッシュ指揮）、新日本フィル、日本フィル、東京都交響楽団等との共演をはじめ、ソリストとしてシノーポリ指揮・ロンドンフィルハーモニア管弦楽団と共演。1994年アルゲリッチ・チェンバーミュージック・フェスティバルを長年親交のあるアルゲリッチと企画し、東京をはじめ各地で成功を収め、その後別府市からの委嘱を受けて企画プロデューサーとして、アルゲリッチと共に新しい音楽文化の創造を具現化した。別府アルゲリッチ音楽祭総合プロデューサー。（公財）アルゲリッチ芸術振興財団副理事長。クラシック音楽を通じた子どもたちの育成をめざして2000年9月「おたまじゃくし基金」を設立、現在の「ピノキオコンサート」へとつながった。新聞・雑誌でのエッセー執筆、講演などでも活躍しており、特に「心の教育」を目指す「ピノキオコンサート」は活動の中心となっている。1995年に北九州市民文化賞、国際ソロプチミスト「女性栄誉賞」、2002年新日鐵音楽賞「特別賞」および大分合同新聞文化賞を受賞。2010年別府市より特別功労表彰を受賞、2011年大分県より大分県功労者表彰を受賞。2016年11月18日には、「第3回JASRAC音楽文化賞」を受賞。同賞は、数字には表れない地道な活動をしている個人や団体、作品に贈られる。

カルテット・アマービレ / 弦楽四重奏団



カルテット・アマービレはヴァイオリニスト篠原悠那、北田千尋、ヴィオリスト中恵菜、チェリスト笹沼樹により桐朋学園在学中に結成。

2016年9月、難関で知られる第65回ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位に入賞、合わせて特別賞（コンクール委嘱作品の最優秀解釈賞）を受賞。第10回横浜国際音楽コンクールアンサンブル部門一般の部第1位及び全部門グランプリ受賞。第12回ルーマニア国際音楽コンクールアンサンブル部門第1位、コカ・コーライーストジャパン賞を受賞。第12回ミュージックアカデミーinみやざきにて講師特別賞、第26回リゾナーレ室内楽セミナーにて奨励賞を受賞。第37回霧島国際音楽祭にてクシシュトフ・ヤブウォンスキ氏と共演し、霧島国際音楽祭賞、堤剛音楽監督賞を受賞。「JTが育てるアンサンブルシリーズ」に出演し、岩崎洸氏と共演。JT「期待の音大生シリーズアフタヌーンコンサート」に出演。インディアナ大学現代日本音楽祭（アメリカ）に出演。学内成績優秀者による桐朋学園室内楽演奏会に出演。プロジェクトQ第10～13章に出演し、ギュンターピヒラー、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、カルミナ四重奏団、上海カルテット、ウィーン弦楽四重奏団、原田禎夫、今井信子氏らのマスタークラスを受講。これまでに、東京クワルテット、徳永二男、佐々木亮、毛利伯郎、原田幸一郎、岩崎洸、加藤知子、山口裕之、漆原啓子、堤剛各氏に、現在、磯村和英、山崎伸子氏に師事。松尾学術振興財団より第26回松尾音楽助成・奨励を受ける。

（写真左から）

中 恵菜	/	なか めぐな	/	ヴァイオラ
笹沼 樹	/	ささぬま たつき	/	チェロ
篠原悠那	/	しのはら ゆうな	/	ヴァイオリン
北田千尋	/	きただ ちひろ	/	ヴァイオリン

MOA美術館



紅白梅図屏風は毎年2月に展示

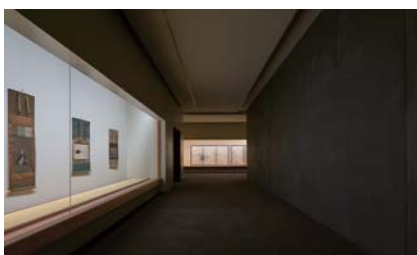


Photo: Masaki Ogawa Courtesy of MOA Museum of Art

ロビーエリア、展示スペースの設計を、世界的に活躍する現代美術作家 杉本博司が建築家 榎田倫之と共に主宰する「新素材研究所」が手がけました。古代や中世、近世に用いられた素材や技法を、現代にどう再構築して受け継いでいくかという問いに取り組み、さまざまな試みを行いました。国宝「色絵藤花文茶壺」の部屋は、職人の技術の粋をきわめた仕上げで、江戸黒ともよばれる深みのある黒漆喰の美しい壁でかこまれます。展示スペースには、樹齢数百年の行者杉をつかった框を配するなど、そこに飾られるものの美を最大限に生かし、古びないあたらしさを感じさせるでしょう。日本の伝統的な素材を用いた現代的な空間が、あたらしいMOA 美術館を体現します。

* コンサート当日は18時まで展示室をご覧ください。

Café Restaurant
Au Mirador



館内には、「オーベルジュ・オー・ミラドー」の伝説のシェフ、勝又登シェフのカフェ・レストランがオープンします。本格的なフレンチの手法で、豊かな自然の育む食材を用いた匠の技が織りなす繊細な一皿一皿をご堪能ください。

the café



相模灘を一望できる眺めのよい空間で、独自に焙煎したオーガニックコーヒーをご賞味ください。

和食・甘味
花の茶屋



茶の庭には和食・甘味 花の茶屋がオープン。地産地消・オーガニックな素材にこだわった日本料理やあんみつなどの甘味を気軽に味わっていただけます。

二條新町
そばの坊



信州・戸隠・黒姫・八ヶ岳で栽培された香りと味が豊かでこしのある食感が自慢の霧下蕎麦がお楽しみいただけます。

the shop



ミュージアムショップでは、美術館オリジナルグッズや、人間国宝をはじめとする伝統工芸作家の作品をリーズナブルな価格で取り揃え、美のある暮らしをご提案します。

企画展

「琳派の美と光琳茶会の軌跡」

4/28（金）～ 6/6（火） 木曜休館



大黒天図 尾形光琳
中村内蔵助賛



重美 雪月花図 酒井抱一



重文 樵夫蒔絵硯箱 伝 本阿弥光悦

* 都合により展示作品は変わる場合があります

お問い合わせ

アルゲリッチ&伊藤京子スペシャルコンサート at NOGAKUDO 担当

MOA 美術館 総務部

Tel 0557-84-2500 Fax 0557-84-2570

広報担当：横井、泉山

e-mail y-yokoi@moaart.or.jp